

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	COOLな松本エリアProject
事業主体 (連絡先)	松本広域連合 0263-87-5461
事業区分	(6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	6,120,808円 (うち支援金: 4,896,000円)

事業内容

地域に根差した特産品と観光を有機的に結び付け、松本地域への観光誘客と地場産業の振興を図るための事業を実施しました。

- Google を活用した観光情報発信
 - マ化ジネス・ストリートビューを活用した情報発信整備
 - ブランディングによる有効な情報発信方法の習得
- 観光・特産品 PR キャンペーンの実施
 - JR首都圏主要駅、松本山雅FCアウェー戦等
- 松本エリア周遊！スマホスタンプラリーの実施
 - 花フェス開催に合わせた地域周遊型スタンプラリーの実施
- 英語版ガイドマップ・シリーズパンフレット作成
 - インハウッドパンフ、「食」を切口としたシリーズパンフ
- 首都圏を対象としたバスツアー運行支援
 - (株)クラブツーリズムによる募集型企画旅行誘致・支援
- 観光物産・地場産品販売等支援事業
 - 地域ブランド構築を目的とした官民対象セミナー開催



【食（日本酒／ワイン）、英語版パンフレット】



【観光キャラバン（山雅 vs 神戸）】



【ブランディング研修】

事業効果

- Google 機能を活用した模範モデルを市村毎に整備したことにより、多国語変換にも対応した高精度・高効率な情報発信とそのスキル習得が図られた。
- 首都圏・関西圏での観光キャラバンにより、観光・特産品の知名度アップを図ることができた。
- スマホスタンプラリーの実施により、旅行者等が気軽に地域周遊を楽しむ機会を提供することができた。
- 英語版パンフによるインハウッドの地域周遊支援、食パンフによる多面的な観光・特産PRを図ることができた。
- バスツアーにより首都圏からの観光客を呼び込むことで村部も含む地域PRを図ることができた。
- 観光や特産品をブランドと認識することで、目的や方向性の定まった販促の意識付けが図られた。

【目標・ねらい】

- ①「観光」×「特産品」による地域振興
- ②地域内周遊と滞在時間延長
- ③松本地域のブランド化推進

※自己評価【B】

【理由】

観光と物産を連携させた取り組みにより、誘客や地域内周遊、産業振興等一定の成果を得ることができた。

今後の取り組み

松本地域のブランド化を進めるとともにブランディングの手法に基づく新規WEBサイトを構築し、既存の市村観光サイトと連携した高効率な情報発信を行います。また、今年度の成果品を用いた観光キャラバン等の実施により来訪者の増加を図り、地域の活性化につなげます。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある